

Sustainable Report No.103

カラスと人の 共存のために

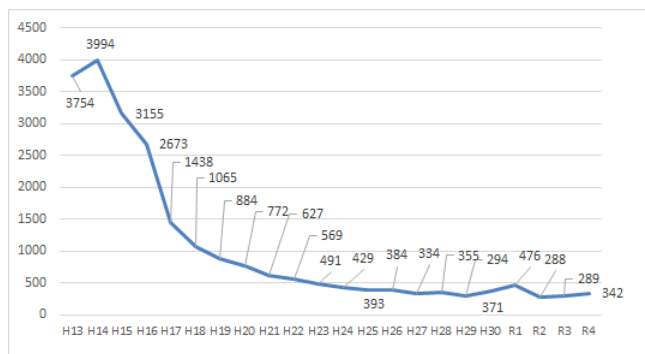


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

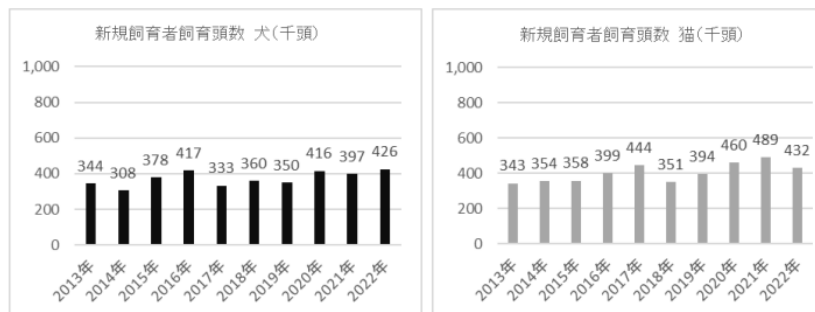
- カラスが**市街地に大量に住み着き、環境や人に被害を与えている**。カラスによる苦情・相談件数は、東京都だけでも2011年より13年間、1年に400件前後の横ばいの状態が続く。
- 外に置かれているごみに限らず、ペットのえさも食べてしまうカラスは、**ペット数の増加に伴って市街地に現れるようになった**と窺える。
- ビルの壁面や歩道に**多数のフンが落とされて街の景観が悪化**し、不衛生な環境になっている。

■ 都庁によせられた苦情・相談件数の推移



出典：東京都 環境局

■ 新規飼育者飼育等数（千頭）



出典：株式会社 新潟放送

▶NEXT：カラスを追い払う「音撃カラススナイパー」を開発



出典：株式会社 新潟放送

▶NEXT：カラスを追い払う「音撃カラススナイパー」を開発

■ 実行者／解決方法／残る課題

- 1991年に設立した**JA全農のグループ会社である全農畜産サービス株式会社**は、高度な専門性とトータルコーディネート力を備えた日本の畜産経営を支援する。
- 「音撃カラススナイパー」を2023年4月に畜産農家や食品工場に向けて販売開始。**カメラでカラスを察知してスピーカーから忌避音を鳴らして追い払う**ことで、音に慣れることなく永続的に効果を発揮。
- 追い払うだけの施策では、**移動したカラスが別の場所で被害を与える**ことが懸念される。

■ 音撃カラススナイパー



■ カラス飛来時のみ音撃発動



出典：左右共に全農畜産サービス株式会社

▶NEXT：カラスの追跡により施策の強化へ

■ 弊害の原因／理想／企業施策

- メーカーによるカラス対策は**購入者の課題解決がゴール**となりやすく、追いついた後の追跡など本質的な解決に向けた施策には至らないのではないか。
- カラスを傷つけることなく環境への悪影響を減らし、**カラスと人が共存できることが理想**である。
- メーカーと、カラスの生態を研究する大学や研究所などが協力して追跡や行動分析し、**追いつく施策の後に必要な製品やそれを使用すべき場所を明確**にすることで、対策の効果向上が期待される。

■ カラスの飛行経路例



■ カラスにGPSをつけることで行動分析



出典：左右共に岩手県立大学

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- 株式会社 新潟放送, 「「カラスに勝ちたい」JR長岡駅前で25年続く“人間vsカラス”の知恵比べ 鳴き声&レーザーでカラスを撃退できるか」, 2023年6月30日 (<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/bsn/570185?display=1>)
- 株式会社 新潟放送, 「「カラスに勝ちたい」JR長岡駅前で25年続く“人間vsカラス”の知恵比べ 鳴き声&レーザーでカラスを撃退できるか」, 2023年8月29日参照 (<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/570185?page=2>)
- 全農畜産サービス株式会社, 「音撃カラススナイパー」, 2023年9月5日参照 (<https://karasu-sniper.jp/>)
- 岩手県立大学, 「RC-20 「盛岡市内におけるカラスの行動分析と可視化」」, 2023年9月5日 ([https://www.iwate-pu.ac.jp/33.RC-20\(%E7%80%AC%E5%B7%9D%E5%85%B8%E4%B9%85%E5%85%88%E7%94%9F.pdf\)](https://www.iwate-pu.ac.jp/33.RC-20(%E7%80%AC%E5%B7%9D%E5%85%B8%E4%B9%85%E5%85%88%E7%94%9F.pdf)))
- 一般社団法人 ペットフード協会, 「2022年（令和4年）全国犬猫飼育実態調査 結果」, 2022年12月26日 (<https://petfood.or.jp/topics/img/221226.pdf>)
- 東京都環境局「生息数等の推移（取組状況）」2023年10月20日 (https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/nature/animals_plants/crow/jyokyo)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的著作権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。